

平成 26 年度風力発電施設に係る  
渡り鳥・海ワシ類の情報整備委託業務

報 告 書

平成 27 年 3 月

環境省 自然環境局



## はじめに

本報告書は、平成 25 年度に実施された同種業務に引き続き行われた「平成 26 年度風力発電施設に係る渡り鳥・海ワシ類の情報整備委託業務」の調査結果を取りまとめたものである。

平成 25 年度調査では、ガンカモ類の全国的な分布の概要、海ワシ類の東北地方一帯の出現状況、八郎潟を利用するガン類、ハクチョウ類の生息状況の年変動や季節変化などがあるため明らかになるなど、多くの知見が集積された。一方で、越冬地・中継地における渡来から渡去に至るシーズンを通じたガンカモ類の利用状況や渡り経路に関する情報の集積は不十分であり、今後の課題として挙げられた。26 年度の業務では 25 年度同様、八郎潟（秋田県）、十三湖（青森県）、小川原湖（青森県）に飛来するガンカモ類を対象に、特に前年度確認することができなかった渡来期の動きを中心に越冬期、渡去期に及ぶ 3 期の活動状況を把握した。また、前年度は資料調査により行ったカモ類の渡り経路の解明についても、今年度はヒアリングと現地調査によって空白地域を埋める作業を進めた。

一方、海ワシ類については、これまで北海道の風力発電施設での衝突が頻発していること、および道内ではさらに風力発電施設の増加が見込まれていることなどから、海ワシ類の最大の渡り拠点の一つである宗谷地域を対象にオオワシ、オジロワシの渡来・渡去の様子、ならびに同地域に越冬する個体の活動状況を把握した。

調査の結果、宗谷地域は海ワシ類の渡来ならびに渡去の際の重要な拠点であると同時に、数は少ないものの越冬期の生息地としても利用されていることが改めて明らかにされた。また、当該地域利用の際にはサケを求めて河畔に飛来したり、丘陵部の牧草地に降りて休息するなど、低空を飛行する様子も多く認められ、それらの行動と風車施設との関係を考える上で、憂慮すべき点として把握された。一方、ガンカモ類の渡り経路の解明については、これまで詳細が知られていなかった地域において、多数のガン類の移動を現地確認するなど、地元有識者に対するヒアリングとともに、前年度までの結果をさらに前進させる成果を得た。

これらの結果は、風力発電施設の立地選択を行う際の考え方に一つの視点を見出したことになる。

本調査を実施するにあたり、多くの方々にヒアリングや現地調査を通じて様々なご協力をいただいた。ご協力いただいた皆様に深謝する次第である。



# 目 次

はじめに

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査内容および方法	1
1) 北海道における海ワシ類の生息状況および行動パターン	1
2) 東北地方の越冬地・中継地におけるガンカモ類の生息状況および行動パターン	2
3) 東北地方におけるガンカモ類の渡り経路および分布状況	3
3. 調査対象地	4
4. 調査期間	7
II. 調査結果	8
1. 宗谷地域における海ワシ類の生息状況および行動パターン	8
1) 地域環境特性	8
(1) 気候	8
(2) 地形・地質	11
(3) 土壌	12
(4) 植生・土地利用	13
(5) 宗谷地域の環境特性	14
2) 宗谷地域の漁業	20
3) 海ワシ類の生息状況および行動パターン	22
(1) 渡来状況	23
(2) 越冬状況	35
(3) 渡去状況	40
(4) 渡来・越冬・渡去期を通じた行動	45
2. 東北地方の越冬地・中継地におけるガンカモ類の生息状況および行動パターン	49
1) 八郎潟および周辺域	49
(1) 地域環境特性	49
(2) 過去 10 年間の分布と月別出現状況(2004～2014 年)	50
(3) 月別個体数の確認状況のまとめ(2004～2014 年)	97
(4) 日最大確認個体数(2004～2014 年)	98
(5) 現地調査による分布と利用状況	113
(6) 分布状況と峙(休息場)の位置	125
(7) 行動パターンと飛行高度	129
2) 十三湖および周辺域	139
(1) 地域環境特性	139
(2) 分布と利用状況	140
(3) 分布状況と峙(休息場)の位置	148
(4) 行動パターンと飛行高度	154
3) 小川原湖および周辺域	162
(1) 地域環境特性	162
(2) 分布と利用状況	163
(3) 分布状況と峙(休息場)の位置	167

(4) 行動パターンと飛行高度.....	172
3. 東北地方におけるガンカモ類の渡り経路と分布状況.....	176
1) 資料調査.....	176
(1) ガンカモ類の生息調査.....	176
(2) モニタリングサイト 1000(ガンカモ類調査).....	188
2) ヒアリング.....	194
(1) 主にガン類の渡り情報.....	194
(2) 主にハクチョウ類の渡り情報.....	195
3) 現地調査.....	197
(1) 渡り経路.....	197
(2) 渡りの飛行高度.....	200
4) ハクチョウ類およびガン類の渡り経路の推定.....	202
III. まとめ.....	204
1. 宗谷地域における海ワシ類の生息状況および行動パターン.....	204
1) 渡来期.....	204
2) 越冬期.....	204
3) 渡去期.....	204
4) 渡来・越冬・渡去期を通じた行動.....	205
5) 海ワシ類の生息に関する重要な環境要素.....	205
2. 東北地方の越冬地・中継地におけるガンカモ類の生息状況および行動パターン.....	206
1) 分布と利用状況.....	206
2) 行動パターン.....	207
3) 飛行高度.....	207
3. 東北地方におけるガンカモ類の渡り経路と分布状況.....	208
1) 分布と生息状況.....	208
2) 渡り経路.....	208
4. 八郎潟におけるガンカモ類の保全上重要な区域.....	209
5. バードストライク防止に資する風力発電施設の立地選択手法に関する考察.....	210
1) 海ワシ類.....	210
2) ガンカモ類.....	211
参考・引用文献.....	213

資料編(別冊)

資料1. ヒアリング対象者

資料2. 有識者ヒアリングの結果

資料3. 八郎潟および周辺域におけるガンカモ類・海ワシ類の出現記録(2013年7月～2014年8月):大潟草原鳥獣保護区管理報告書(環境省)

資料4. 八郎潟および周辺域におけるガンカモ類の月別確認個体数(2013年9月～2014年8月):

資料5. 八郎潟および周辺域におけるガンカモ類・海ワシ類の出現記録

資料6. 十三湖および周辺域におけるガンカモ類・海ワシ類の出現記録

資料7. 小川原湖および周辺域におけるガンカモ類・海ワシ類の出現記録

資料8. 宗谷岬および周辺域における海ワシ類の出現記録

資料9. 東北地方におけるガンカモ類の渡り記録

